

博覧会協会における 予算執行状況について

2025年 8 月6日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

運営費・会場建設費の執行状況について

運営費の資金計画

1. 資金計画（運営費ほか）の全体像について

- 協会全体の資金計画として、会場建設費以外に運営費のほかに協賛事業、政府からの受託事業がある。
- 運営費予算は、1,160億円（2019年12月BIE登録申請書 809億円から+ 351億円）
- 従前より管理費削減に努力するとともに、運営参加など運営費削減に寄与する協賛獲得を実施している。引続き支出抑制とともに、営業施設からのロイヤリティ収入拡充等により収入増加に取り組んでいく。
- 協賛事業についても企業・団体・公営事業者との間で会場整備・運営の協賛に向けた協議を重ね、今般827億円（うち契約済・契約手続き中767億円）を見込んでいる

収入（億円）		支出（億円）	
入場券売上	969	運営費	1,160
その他収入	191		
運営費収入計	1,160	運営費支出計	1,160
協賛収入（資金・現物）	827	協賛事業	827
受託収入※	299	受託事業※	299

※受託事業は、増額・事業増加する予定があります。受託元からの予算措置を勘案し、以下基準で記載しております。

【内訳】：①日本館事業：約30億円（契約基準⇒政府予算では他受託先と混在の為）

②途上国支援：約70億円（政府予算計上基準で記載）

③会場内の安全確保：最大199億円程度（政府予算計上基準で記載）

運営費の執行状況について（2025年7月15日）

（単位：億円）

執行項目	契約済(2025年7月15日)			今後の予定		総合計
	金額	前回報告以降の主な内容	前回比 (2025年5月末)	予定額	主な内容	
会場管理費	355		12			
会場運営管理・来客対応費	190	(変更契約) 万博IDユーザ対応業務、(変更契約) 来場者サービス実施計画策定・実施運営委託業務、光熱水費支払い、ピアテラス整備・運営業務、(変更契約) 関係者入場証発行・入退場管理システム構築等業務、(変更契約) 救護隊運用業務、(変更契約) 会場内清掃業務 ほか	10	119	・来場者サービス、会場清掃、医療スタッフ等に係る人件費 (変更契約、残業代の精算等) ・東西ゲート及び会場内の暑熱対策 ・賓客対応（皇室、ND・SD等） ・ICT-PFデータ保存等 ・ユスリカ対策、水質管理対策等 ・光熱水費の支払い ほか	474
ICT関連費	165	(変更契約)入場券販売関連システムサービス提供業務、バーチャル会場上の外観修正業務、大学とのデータ分析共同研究契約 ほか	2			
事業運営費	124		4			
共創事業費	27	ベストプラクティス記念イベント企画運営業務 ほか	2			
テーマ事業費	40	—	—	39	・閉会式（ノンプロトコルパートの演出等） ・花火等追加イベント実施 ・イベント施設等での暑熱対策 ・公式宿舍の環境整備等 ほか	163
催事費	37	花火の実施に係る業務委託、休憩/催事施設内外装設備工事等及び運営管理業務、閉会式に係る実施計画策定及び管理運営業務 ほか	2			
住宅・公式参加国関係費	20	賃貸借契約（守口宿舍）賃料、東喜連宿舍に係る備品調達 ほか	0			
営業関係費	84		2			
広報宣伝費	28	総合コンタクトセンター業務、海外メディア対応支援業務、(変更契約) 万博会場来場促進に向けたミャクミャクブランド強化事業 ほか	2	17	・入場券販売関連システム改善 ・万博公式WEBサイト改善 ・ミャクミャクの追加出演 ほか	101
入場券関係費	56	WEBメディアPR業務、団体・企業向け入場券の実績集計・請求書作成等に係るRPA導入 ほか	0			
輸送管理費	185	(変更契約) 夢洲交通ターミナル警備業務（配車アプリ車両の乗車場移設）、(変更契約) 夢洲身障者駐車場等警備業務 ほか	0	25	・来場者輸送体制の改善 ・桜島シャトルバス対策（運行補助） ほか	210
管理関係費	144	消費税還付、職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	▲ 49	68	・消費税納付 ・職員人件費 ・オフィス賃料 ほか	212
合 計	892		▲ 31	268		1,160

執行率(7月15日) **76.9%**

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わりのもの

※2 一部、内訳端数調整有

会場建設費の資金計画

記載のとおり、会場建設費に係る総額2,350億円の資金計画を定めることについて、理事会の承認を求める。

資金計画（会場建設費）

収入（億円）		支出（億円）	
国庫補助金収入	783	施設整備費	1,495
大阪府・市補助金収入	783	基盤・インフラ整備費	725
民間資金等収入	783	予備費	130
会場建設費収入計	2,350	会場建設費支出計	2,350

- 会場建設費予算は、2350億円（2020年12月基本計画 1,850億円から+500億円）
- 施設整備費…大工区、大・小催事場や迎賓館などの主要施設の整備に1,495億円
- 基盤・インフラ整備費…土木工区、インフラ設備、交通設備等の整備に725億円
- 予備費…予期せぬ万一の事態が生じた場合に備えて130億円

会場建設費の執行状況について（2025年7月15日）

（単位：億円）

執 行 項 目	契約済			今後の予定		執行予定額
	金額	主な内容	前回比 (2025年5月末)	小計	主な内容	
大工区	1,244		+0.7			
PW北東工区	349			141	・施設等維持補修 ・リユース対応 ・会場基盤撤去工事 他	1,385
PW南東工区	283	・大屋根（リンク）				
PW西工区	331	・パビリオンB、C				
GW工区	165	・管理施設、ゲート施設等の整備				
静けさの森工区等	34	・メタン対策				
会場附帯施設等整備	64	・附帯整備	+0.3			
会場施設等維持補修業務	17	（各種サイン・舗装・休憩所等）	+0.4			
会場基盤撤去	1					
主要施設	287		+0			
大催事場	93			8	・解体工事変更対応 他	295
小催事場	50	・各施設整備				
迎賓館	39					
テーマ館	53					
若手建築家施設	52	・テラライトスタジオ、休憩所等(20棟)				
土木工区	110	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、汚水管、給水管、 熱供給管、電氣管路、通信管路	0	▲ 1	・水道分担金還付 他	109
インフラ設備 （電気・熱供給、通信、警備設備 等）	243	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備等	0	7	・解体工事変更対応 他	250
交通施設	173	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備	0	6	・維持補修 ・解体工事変更対応 他	179
環境評価、委託関係	61	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	0	3	・現契約案件の継続追加業務 他 （プロジェクトマネジメント、コストマネジメント等）	64
合計	2,118		+0.7	164		2,220
						予備費※ 130
					総 計	2,350

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

※予備費執行となり得るの
は「約87億円」。現時点の予備費執行は、
隙間が約25億円のため「約62億円」の見込。

■2,350億円の執行率： 90.1%

変動対応事項における会場建設費の執行について

【諮問事項】 変動対応として会場建設費の執行が必要となるため、了承を求めるもの。

会場建設費の執行状況を見ると、直前期や会期中における予見外の変動対応として執行案件が複数生じており、今後も生じる可能性があることから引き続きが注視が必要。

【予見できなかった事象への主な執行（今後も生じる可能性有り）】

- ①公式参加国出展形態変更への対応 ※1
- ②ウォーター・ガザ 及びつながりの海の護岸浸食対応 ※1
- ③来場者向け環境整備への対応 ※1
- ④ 大屋根リングリユース解体費等に係る追加経費（第6号議案）

上記を会場建設費で負担するにあたって、必要額の精査や他事業の執行残も充当しながらできる限り**2,282**億円に収まるよう努めるものの、追加の予備費執行※2の可能性が生じることから、この点をご了知いただきたい。また、自然災害等予見できない事態への備えが不足しないことを前提とする。

※1 現状**2282**億円の隙間で対応しているものの、今後の執行状況によって押し出され予備費となる可能性がある

※2 予備費は当初**130**億円計上していたところ、**2024.12**に公式参加国出展形態への対応・メタンガス対策に伴い**62**億円を執行承認済で、現時点の残額は**68**億円。

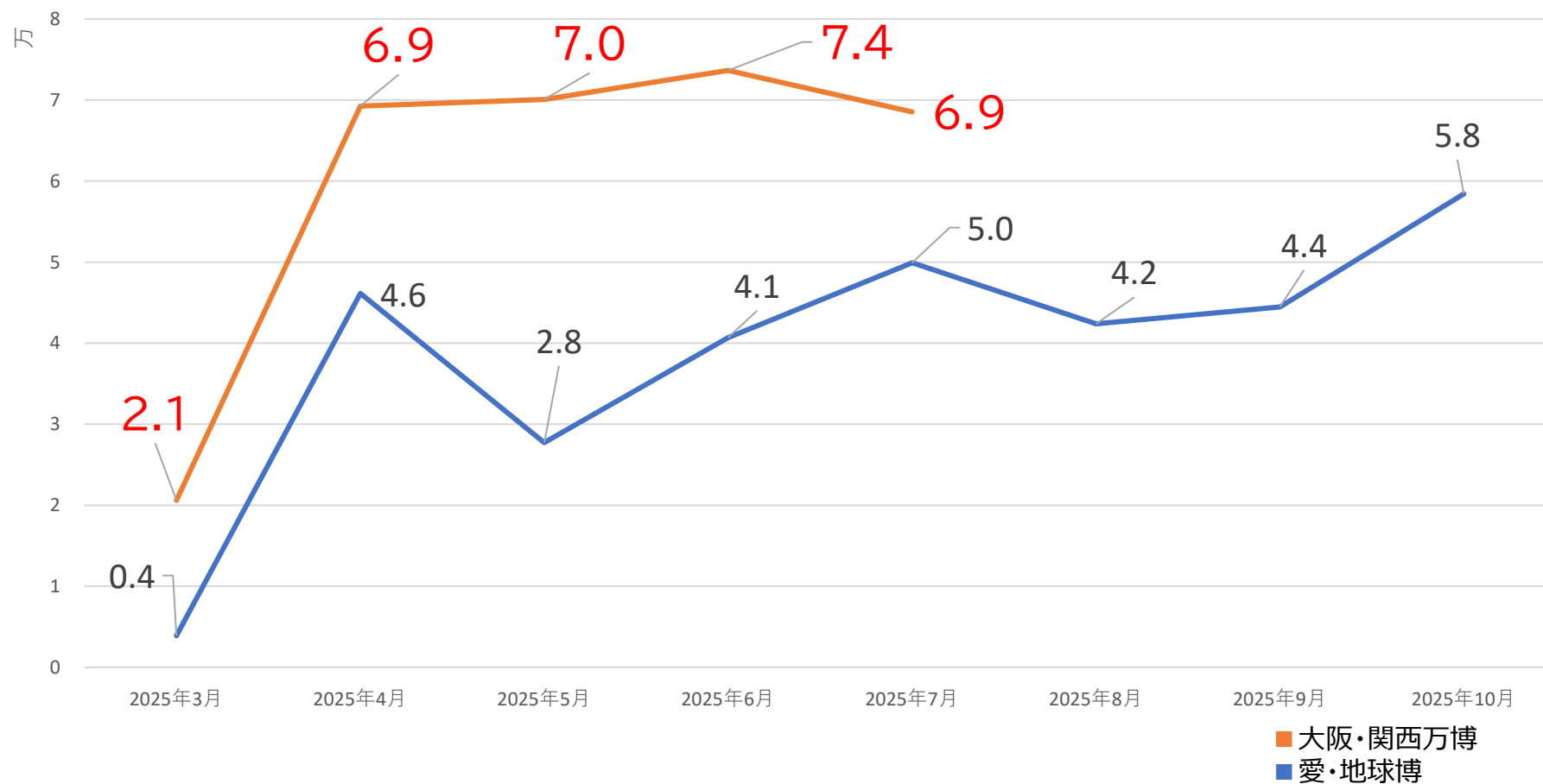
入場券販売実績

入場券販売状況（2025年8月1日時点）

➤ **8/1**までの入場券販売枚数は**1754**万枚（招待事業（学校団体分）4月、5月、6月分の実績等を含む）。

月別:1日平均入場券販売数

（単位:万枚）

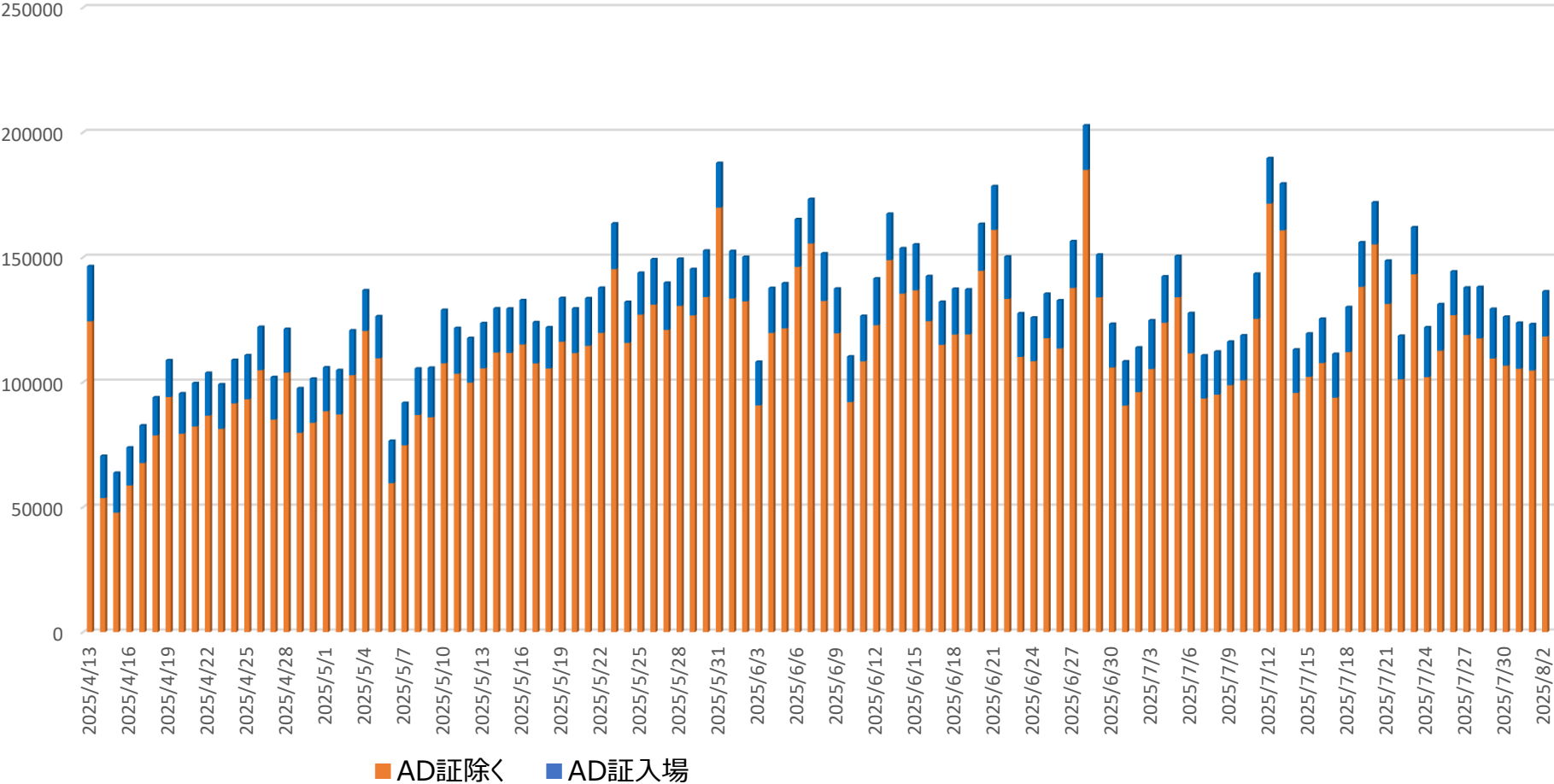


入場者数の状況（4/13～8/2実績）

【全体動向】各種施策実施により増加傾向

- **8/2までの入場者数は1458万人（AD証除き：1258万人）**
- **通期（4/13～8/2）の1日平均入場者数：13万人（AD証除き：11万人）**

入場者数の推移

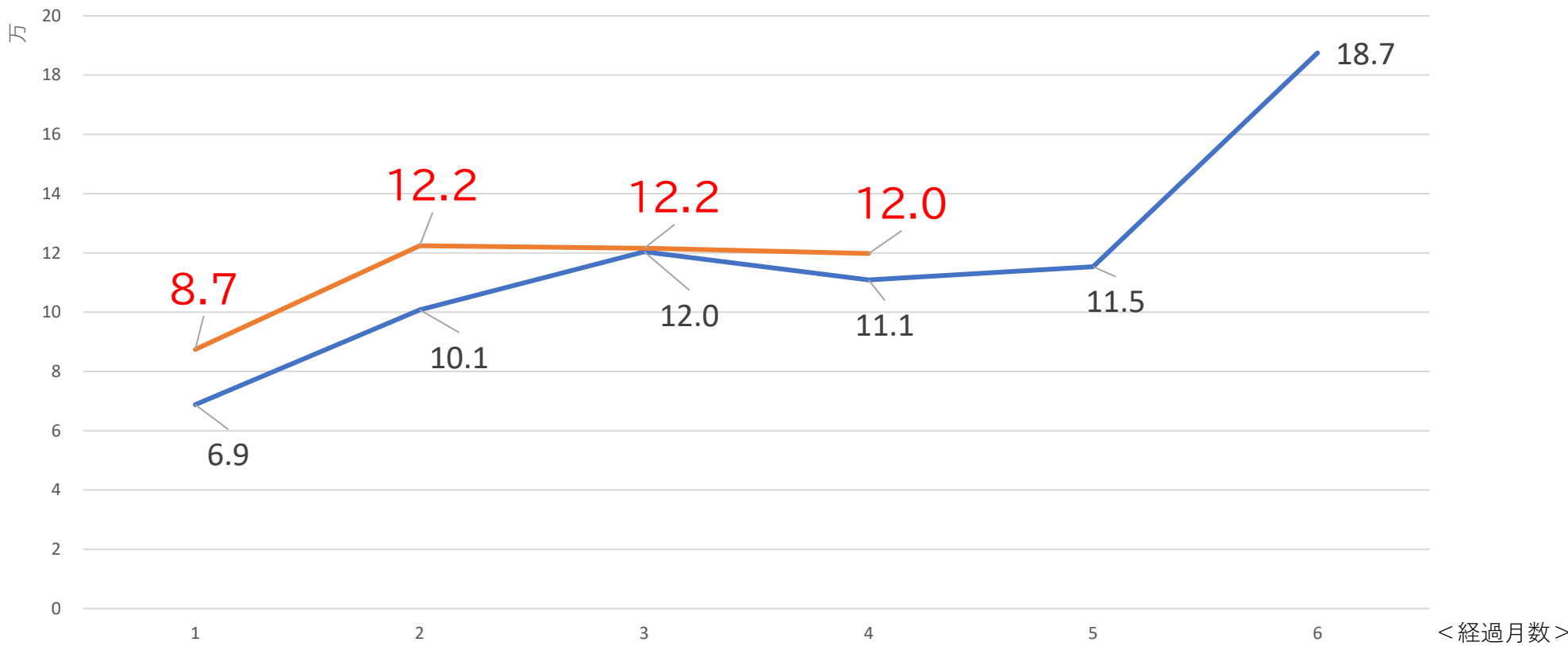


チケット入場者数 ※愛・地球博との推移比較

➤ **8/2**（開幕から**112**日目）までの**1**日平均来場者数：**11.2**万人（**AD**証入場者を除く）

1日平均入場者数

（単位:万人）



※入場者数の基準
愛・地球博：公式記録ベース
大阪・関西万博：入場者数からAD証入場者数を除いた数値

※経過月数：30日単位で比較したもの。経過月数4か月目は7月12日～8月2日の実績

来場者数増加に向けた取組状況

来場者数増加に向けた取組状況

- 東ゲート・午前中の混雑の傾向が顕著。ゲート数が多い（東：**27**ゲート＜西：**34**ゲート）西ゲートの活用を行うべく各種取組を実施。

①-1西ゲートの活用について

開始日	方策	内容
5/24	P&R 駐車場の利用促進 ① 優先レーンの設置 ② 当日予約枠の開設 ③ 15 時以降予約枠の割引 ④ 障がい者枠の増設	① 西ゲートで優先レーンを設定し利用促進 ② 前日までの事前予約制から、当日予約枠可能に ③ 利用率が低い午後枠の利用向上 ④ 予約が困難となっていた障がい者用駐車場の増設
5/30	桜島シャトルバスの完全予約化	乗車率が高い午前（～ 10:30 ）を完全予約化し、全アクセスのフル活用促進
6/15	新規バス路線の開設①	ATC ⇒夢洲（西ゲート）のバス路線開設
6/16	歩行ルート of 開設	夢洲駅⇒西ゲートへの歩行ルート開設
6/29	新規バス路線の開設②	コスモスクエア⇒夢洲（西ゲート）のバス路線開設
	P&R 駐車場・水上アクセスの利用促進	P&R ：優先レーン時間の拡大 水上アクセス：浮桟橋利用時間延長・優先レーン設置開始
7/1	外周バスの活用	西ゲート予約来場者に対する東ゲート前⇒西ゲート前への外周バスでの移動手段提供
	桜島シャトルバスの増強	桜島シャトルバスの始発繰り上げ・増便を実施

来場者数増加に向けた取組状況

①-2西ゲートの活用について

開始日	方策	内容
7/15	アプリタクシーの乗り場変更	待ち時間短縮や交通ターミナルの混雑緩和、シャトルバスの安定運行を図るため、アプリ予約を受けたタクシーの乗車場所を変更 (第1交通ターミナル⇒第2交通ターミナル)
7/18	ミyakumyakぬいぐるみくじの移転	くじ機の台数、ぬいぐるみ数を従来より増やし、西エリアに移転 (EXPOホール「シャインハット」前⇒「風の広場マーケットプレイス」)
7/19	「EXPOサンセットビアテラス」オープン	美しい夕景が楽しめる「団体休憩所西」に、アルコールを含めた飲食が可能な空間を設置 (毎日16時～21時まで開催)
7/30	ミyakumyakモニュメントの移設	大阪市役所前の大型ミyakumyakモニュメントを西エリアの「風の広場」に移設
8/1	弁天町駅発シャトルバス運行開始	中央線及び東ゲートの混雑緩和と、西ゲートの利用促進のため新たな運行(往路のみ)



来場者増加に向けた取組状況

- ▶ 午前中に来場が集中・過去事例からも会期後半の大混雑することを踏まえて来場日・時間の分散を行う施策を順次実施。

②来場日時分散

開始日	分散効果		方策	内容
	来場日	時間		
4/13～	○		予約枠の段階的引き上げ	交通状況・ゲート運営の状況を勘案しつつ、段階的に予約枠引き上げ
5/7		○	トワイライトキャンペーンの実施	夜間券の 1 時間前倒し入場（ 17 時→ 16 時）
5/13	○		早期来場の働きかけ	大口購入企業への早期来場の呼び掛けを経済団体から実施
5/24		○	P&R 駐車場 15 時以降予約枠の割引	トワイライトキャンペーンと連動し、夕方以降の来場者の駐車場利用を促進
5/25		○	アーリーゲートオープンの開始	ゲート前の混雑緩和・パビリオン予約時間に来館可能とするように前倒しゲートオープンを実施
7/1		○	店舗の営業時間延長	店舗の営業時間の延長を実施し「夜楽しめる」環境づくりと退場時の混雑緩和を目指す
7/2	○		夏休みに向けた早期来場の働きかけ	夏休みシーズンに向けて大口購入企業への早期来場の呼び掛けを経済団体から実施
7/14	○		夏休みキャンペーンの実施	夏休みをターゲットとした以下施策を公表し、夏休みの来場を呼び掛け ①毎日ミニ花火大会②夏休み期間限定イベント③ミyakumiyakuくじの移転 ④空飛ぶクルマのデモフライト⑤ EXPO サンセットビアテラスの開設
7/28	○		来場日時指定でのチケット販売への移行の発表とあわせた早期来場の働きかけ	来場日時指定でのチケット販売へ移行（ 8/18 ～）と通期パス・夏パスの販売終了（～ 8/17 ）の発表とあわせて、8月中の早期来場を呼び掛け順次、大口購入企業にも同様の呼び掛けを個別に実施